

平成19年11月19日

各報道機関 様

高知県病害虫防除所より施設果菜類等の害虫、ミナミキイロアザミウマに関する注意報が発令されましたので、お知らせします。

平成19年度病害虫発生予察注意報第3号の発令について

病害虫発生予察注意報は、重要な病害虫の多発生が予想され、早急に防除措置を講ずる必要が生じた場合に発令する情報です。

病害虫名：ミナミキイロアザミウマ

作物名：施設果菜類全般

10月4～5半旬に実施した巡回調査では、県内全域の促成ピーマン・シシトウでの本虫の発生面積は平年を大きく上まわっており、寄生花率も高くなっています。また、促成ナスでは平年よりやや多～並の発生面積であるものの、寄生葉率は平年の倍以上となっています。聞き取り調査などでも、施設野菜類全般で発生が目立つという報告が寄せられています。

さらに、向こう1ヶ月の気象予報では、気温は平年並か高めの見込みであることから、野外からの飛び込みが長く続くことや、ハウス内での増加が予想されます。

防除対策としては、施設開口部からの飛び込みを防ぐために、施設開口部への防虫ネット(1mm目以下)被覆を行い、ほ場周辺の除草や可能な作物での近紫外線カットフィルムの利用など成虫の侵入防止と密度低下に努めましょう。

ミナミキイロアザミウマは花や生長点付近を好んで生息し、また青色粘着資材等に誘引されるので、早期発見の目安のため粘着資材を使用しましょう。

高密度時には防除が著しく困難となるので、発見次第、早期防除を徹底し、天敵導入ハウスでは、天敵に影響の少ない薬剤の選定に留意しましょう。なお、薬剤抵抗性発達回避のため同一系統の剤の連用は避けるとともに、気門封鎖剤や微生物農薬等による総合的な防除に努めましょう。

キュウリでの本虫の発生は、現在のところ平年並～やや少なめですが、本虫が媒介する黄化えそ病(MY S V)による被害が懸念されますので、キュウリ・メロンでは本虫の侵入防止と密度低下に努めるとともに、発病株は見つけ次第早めに除去しましょう。

お問い合わせは、病害虫防除所：岡、西 (TEL. 863-1132) または、環境農業推進課：朝比奈 (TEL. 821-4861) まで。